

音楽の世界で今何が起きている??

阿部 竜之介 『Pepeの視点』

June / 9 / 2023 # 123

---

Trombone & Euphonium奏者の阿部竜之介(Pepe)です。

このメールマガジンでは、僕から見た今の音楽の世界で起きていること、また演奏に関するヒントなどをお届けしていきます。

またメルマガ内でもいろいろな質問に答えていこうと思っていますので、どんどん質問してきてくださいね！

---

## INDEX

[1] 旬な話題、気になる話題

『ITEC 2023』

[2] Pepeのひとりごと

『両方で』

[3] 演奏のヒント！

『リップトリル』

[4] 編集後記

---

[1] 旬な話題、気になる話題

『ITEC 2023』

先日、5月29日～6月3日まで、アメリカのアリゾナ州TempeにてITEC (International Tuba Euphonium Conference) が開催されました。

僕は参加していませんが、いろいろな国から参加した友人たちからのSNSの投稿によって、とても盛り上がった様子を知ることができました。

今回の大会は日本からのゲスト奏者や参加者が多く、コロナ禍の規制のあとの海外への移動が活発になったことも再認識することができました。

僕自身、高校3年生だった18歳のときに初めてITECに参加をして、その

世界を間近で感じ、知ることができました。この経験は、その後の自分の活動にかなり大きな影響を与えていることを、今もよく感じています。

Euphonium吹きにとってはこのITEC、そしてTrombone吹きにとってはITF (International Trombone Festival) が最も大きな規模でのその楽器のイベントになると思います。

こういったイベントで何が起きているかという、名プレイヤーたちの演奏、各国からの若手スーパープレイヤーの演奏、様々な作曲家たちの新曲発表、いろいろな分野（現代曲や古楽器など）における専門家のレクチャーやマスタークラスなどが毎日、いろいろな会場で行われています。

そして、僕が何よりも大切に感じていることは、「出会い」。  
いろいろな国から参加している名プレイヤーたちの演奏を生で聴くことができる、直接会って話すことができる、とてもいい機会です。  
また、こういう大会にはいつも様々なコンクールも同時に開催されているのですが、そのコンクールを受けている人たちとも知り合うことができます（自分から積極的に話しかけにいたりすると）。

僕自身、こういう大会を通じていろいろな人たちとつながりを持つことができ、その後の自分の演奏活動のとてもいい刺激になっていたり、各地での再会で喜びを感じることができています。

楽器が大好きな人、そして、今専門的に勉強をしている若い人たちには、ぜひ一つでも多くのこういったイベントに参加してもらいたい、と強く思っています。

僕も、次回のITECには参加できるかなあ??

## [2] Pepeのひとりごと

### 『両方で』

来月、7月23日から30日までイタリアのフィレンツェなどで開催される「Italian Brass Week」にEuphoniumの講師の一人として参加することになったということは以前にもこのメールマガジンで書いたと思いますが、なんと、急遽Tromboneの講師も担当することになりました。

レッスンやコンサートの内容はまだくわしく知らされていないのですが、Tromboneでも講師をするという事は、Tromboneの他の講師の人たちとの交流の機会も増えると思うので、それが今からとても楽しみです！

しかし、こうなった場合は嬉しいことだけではなく・・・。

両方するとなると、心配事となってくるのが移動（涙）。  
今、現地でYAMAHAのTromboneを借りることができないかの打診はしているのですが、もし自分で楽器を両方持っていくとなると、これはかなり大変（汗）。

まず、両方持っていく、という単純に重い、かさばる、という問題。  
そしてもう一つ大きな心配事が、楽器を持っての飛行機の移動。  
手荷物として2つとも機内に持って入ることができるのかどうか・・・。

こればかりは当日、そのときになってみないとわからないことなので、  
ず～～～っと心配している状況となってしまいます。  
これが、精神的にもキツイんです（泣）。

最終的にどうなるのかはまだわかりませんが、いろいろとうまく  
いきますように。

Italian Brass Weekについての詳細はこちらからどうぞ！

<https://www.italianbrass.com/en/>

\*Trombone講師の予定だったZachary Bond氏の参加がキャンセルになってしまって、そのところに僕が入ることになりました。サイトでは、まだ変更されていませんね（僕もまだ写真とか送っていないし・・・笑）。

### [3] 演奏のヒント！

#### 『リップトリル』

今月は、リップトリルの練習の仕方について。

リップトリルの練習方法も、他のものと同じようにいろいろなものがあります。みなさんも、いろいろな練習方法を見聞きしたことがあると思います。

今回は、その中でも僕が他でも聞いたことがないものを一つ紹介しますね。

それは、「タンギングをしての練習」です。

TromboneでもEuphoniumでも、リップトリルは同じポジション、運指で吹きます。

それを、ゆっくり目のテンポでタンギングで吹いてみましょう。

リップトリルをする場合というのは倍音が近い音ですので、ある程度音域は高くなってきます。

ゆっくり目のテンポでタンギングをしてみて、それがうまくできない場合は、リップトリルの練習の前に、その音域をもう少し余裕を持って吹けるようになるための練習をしましょう。

リップトリルをする音域を演奏するのに無理が必要な場合は、リップトリルもうまくはいきません。

ゆっくり目のテンポでタンギングでうまく上下の音の移動ができる場合は、同じテンポでタンギングとスラーを繰り返してみましょう（2回以上はタンギング、スラーそれぞれを続けてくださいね。例えば、「タタタタ、タラララ、タタタタ、タラララ」のように）。

この状態で3回、4回と音を変える回数を増やしていきながら、テンポも少しずつ速くしていきましょう。

きっと、少しずつコツのようなものが見えてくると思います。

この練習の時、タンギングのときもスラーのときも、トリルの2つの音どちらもきちんと音程が見える「いい音（当たった音）」で吹けているのかの確認も忘れないように！

---

## 編集後記

梅雨入りをして、蒸し暑い日が少しずつ増えてきましたねえ（泣）。  
僕のいちばん苦手な季節です・・・。

でも、今のところはまだ最高気温が死にそうなものではないので、  
毎日なんとか気分よく過ごそうとしています。  
今年の夏も、殺人的な暑さになるのでしょうかねえ・・・。

実は、4月末にいろいろとタイミングが重なり、急遽親知らずを抜きました。  
普通の治療をしているときに「もう抜いちゃいますか、今日？」という  
感じで聞かれ、瞬時にいろいろなことを考えた末、抜くことにしました。

抜いてスッキリはしたのですが（そのおかげで隣の歯の治療がとても  
スムーズに進みました）、すべての治療完了までには思った以上に時間  
かかりました。

まあ、丁寧に治療してもらえている、と思うしかないですよ（笑）。  
5月31日で無事にすべての治療が終了。  
その後、快適に毎日を過ごすことができます。

楽器の演奏はというと、すごく細かいところでいうと、もちろん歯が  
なくなった分口の中の空間が広がったので音にも少し変化がありました、  
今はやっと治療が終わって落ち着いたので、音の調整もちゃんと

できるようになりました（もう落ち着きました！）。

今回抜いた親知らずは、もう15年以上前からあって、たまに痛みを出したり悪さをしていました。

今回、それをのけたので、気持ちもずいぶんと楽になりました。

さあ、これからはどんどん前に進んでいきますよ～！！

-----  
阿部 竜之介(Pepe) オフィシャルウェブサイト

<http://www.pepeabe.com>

ご意見、感想、質問などはメールでどうぞ！

[info@pepeabe.com](mailto:info@pepeabe.com)  
-----

©阿部竜之介 『Pepeの視点』

のバックナンバー、配信停止はこちら

<http://www.mag2.com/m/0001601194.html>